



金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和3年 5月19日

No.5

児童数 75名

校長 宍戸 与一

深呼吸

薫風が吹き渡り、思わず深呼吸をしたくなるような気持ちのよい季節となりました。集団登校してくる子どもたちは、私と目を合わせながらきちんとあいさつをします。

県内の新型コロナウイルス感染症の感染状況が「ステージⅢ」と判断され、それに伴い、学校においては、感染リスクの高い教育活動については中止、または、実施方法を変更しての対応が求められています。

大切なことは「正しく恐れて、きちんと対策を取ること」。100%の安全はありません。必ずリスクはあります。でも、安全性を100%に近づけることはできます。コロナ対策としては習慣となりつつある「手洗いや消毒、マスク、3密を避ける」ことです。学校でも、家庭でも、このことをしっかり行うことが大切だと思います。

制限の多い生活が続きます。時々、家の近くを散歩などはいかがでしょう。周りに人がいないところでは、ちょっとマスクを外して大きく深呼吸。新鮮な空気をたっぷり吸ったら、体も心もリフレッシュできそうです。連休明けの疲れがたまっているこの時期、規則正しい生活を送って、元気に過ごしてほしいです。



《集団登校の様子》



《鼓笛の練習》

今年度の鼓笛パレードが中止になりました。それでも子どもたちは、運動会での鼓笛演奏に向けて、毎日一生懸命練習を続けています。落ち込んでいる子どももいるのかと思いますが、そんなそぶりも見せずに、みんなしっかりと眼差しで練習に取り組んでいます。大人以上に子どもたちの中に覚悟のような気持ちが生まれているのかもしれない。やれることを探すということをしつかりと受け止めているのでしょうか。

今までどおりを踏襲することは、比較的楽なのかもしれません。新しいことを生み出すこと、変化させていくことは、不安や失敗もあります。しかし、今だからできるチャレンジもあります。小さな失敗を重ねながら変化していけばよいのだと考えます。学校に寄せていただける温かな言葉は、何よりのものです。そして、子どもたちを直接支えてくださるご家庭の学校への信頼が支えになっています。この時代を、この先を生きていく子どもたちが自ら人生を切り拓いていけるよう、チャレンジしていけるよう、子どもたちを真ん中において、教育活動を展開していきたいと思います。

PCR検査をする場合・陽性判明の場合は、必ず学校までご連絡ください。

学校の安全確保のためには、保護者の皆様等、同居の家族の方についても、感染症の検査状況を把握する必要があります。そのため、児童はもちろんのこと、同居家族の方がPCR検査を受けたり、同居家族が濃厚接触者に特定されたりした場合、児童の登校をお控えいただき、必ず学校までご連絡をお願いします。